

令和5年5月24日
教育総務課

令和5年第1回区議会定例会及び予算特別委員会における質問について

1. 議会日程

(1) 令和5年第1回区議会定例会

会 期： 令和5年2月20日（月）～3月28日（火）

① 代表質問 2月20日（月）・21日（火）

② 一般質問 2月21日（火）・22日（水）

(2) 令和5年予算特別委員会

審査日程： 令和5年3月7日（火）～3月23日（木）

① 総括質疑 3月7日（火）

② 文教委員会所管質疑 3月17日（金）

③ 補充質疑 3月23日（木）

2. 世田谷区のホームページにおける閲覧等

区議会本会議及び予算特別委員会における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

※「会議録検索システム」における質問及び答弁については、予算特別委員会の分は6月上旬公開予定。

※令和5年第1回区議会定例会における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨については、別紙のとおり。

【別紙】

令和5年第1回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

<代表>

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
区長の場合当 たりの物 価高騰対策	自民	おぎの けんじ	区長	区長は物価高騰に伴う緊急措置として学校給食費無償化の実施を表明した。92万区民が等しく物価高に苦しむ中、区立校に通う世帯限定の施策とした根拠を示せ。	公立学校の設置者である区ができる措置として実施を決めた。
学校改築の 優先順位の 整理	自民	おぎの けんじ	教育総務 部長	現在の学校改築に係る計画は、35人学級対応など改築順を決める上で勘案すべき新たな事情を加味していない。改築を的確に進めるため、選定基準を整理せよ。	改築順を決める際の基本的考え方を早急にまとめる。
学校給食費 無償化の恒 久的実施	立憲	藤井 まな	区長	区は5年度の単年度事業として給食費無償化を実施する方針を示した。子どもの教育を受ける権利を保障するため、普遍的かつ恒久的な制度となるよう検討せよ。	6年度以降は社会情勢や国の少子化対策も踏まえ判断する。
正規教員の 増員に向け た対応	立憲	藤井 まな	教育長	国が導入を進める小学校高学年の教科担任制は児童に専門性の高い指導ができる反面、教員不足の加速化が懸念される。都に正規教員を増やすよう強く求めよ。	増員を強く求めるとともに区独自の人材確保策を検討する。

<一般>

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
区立幼稚園 の集約化計 画の見直し	立憲	中山 みずほ	教育総合 センター 担当参事	区は少子化を背景に区立幼稚園を8園から5園に減らす集約化計画を示したが、配慮を要する子どもの受入先が縮小するなど様々な課題が残る。計画を見直せ。	公私立の保育園や私立幼稚園と連携し様々な課題に対応する。
教育におけ る保護者負 担の軽減	新風	つるみ けんご	教育総務 部長	限られた財源で効果的な負担軽減を図るには、科学的な分析に基づく的確な判断が必要だ。負担軽減に係る優先順位について、教育委員会の考えを伺う。	社会経済情勢などを踏まえ家庭の負担軽減策を検討していく。

<一般>

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
不登校・発達障害児の対策強化を	共産	江口 じゅん子	教育総合センター担当参事	受皿不足があり、不登校特例校・ほっとスクールや多様な居場所、自閉症・情緒障害特別支援級の整備は急務だ。子どもの居場所確保への具体策を早急に進めよ。	5年度中には受入体制の拡充に向け具体的な取組を示す。
砧南小の教員不足への早急な対応	減税	あべ 力也	教育政策部長	砧南小は教員不足が深刻であり、少人数学習を中止したばかりか担任不在のクラスまである。保護者の不安の声を踏まえ、教員確保に向けた対策を早急に講じよ。	確実な配置を都に強く求め、区独自の教員確保も検討する。
特異な才能がある子どもへの支援	公明	佐藤 ひると	教育長	区は特定分野に特異な才能があり学校生活上の困難を抱える子どもの支援に着手する。区が掲げる個別最適かつ協働的な学びの実現に向け全区立校で取組め。	区全体で取り組むべきものであり研究成果を拡げていきたい。
都から区への教員人事権の移譲	国際	神尾 りさ	教育政策部長	区が目指す「世田谷らしい教育」を実現するには区の教育方針を理解し、実践できる教員が不可欠だ。都に教員人事権の移譲を求め、区独自に教員を育成せよ。	人事権の移譲を都に要望し、区独自の人材確保策も検討する。
区立中での給食の食べ残し削減策	立憲	いそだ 久美子	教育総務部長	区立中での給食の食べ残し削減には現状の短い食事時間を改善することが有効だ。準備時間を短縮し食事時間の確保に成功した他自治体に倣い区も方策を講じよ。	他自治体での取組を参考にしたモデル事業などを検討する。
学校改築時の工期短縮への努力	自民	和田 ひでとし	教育総務部長	学校改築は一層推進すべきだが、子どもが貴重な数年間を仮設校舎で過ごすことになるなどの課題がある。改築中の良好な教育環境の確保や工期短縮に注力せよ。	最も効果的で効率的な改築手法の確立に向けて検討を進める。
医療的ケア児への支援拡充	自民	石川 ナオミ	教育総合センター担当参事	医療的ケア児は個別性が高く必要な支援も多岐にわたる。地域の学校に通う際にかかる負担など、ケア児を取り巻く現状を的確に把握し支援策の拡充に力を注げ。	関係所管課で構成する作業部会で支援の在り方を検討する。

< 一般 >

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
食育につながるエコ農産物の活用	自民	石川 ナオミ	教育政策部長	区は農薬などを使わずに作るエコ農産物を学校給食に導入予定だ。これを機に地域の生産者と一層連携を図り子どもの食に感謝する心を育む農業体験を実施せよ。	生産者との交流など体験的に学ぶ機会の拡充を検討する。
常設の英語体験プログラムの整備	立憲	中村 公太郎	教育総合センター担当参事	区は教育総合センターで多世代向けの英語体験プログラムを始めるが、年間11日の開催では少なすぎる。区民が日常的に英語に触れられるよう早期に常設化せよ。	参加者ニーズに応じて内容を精選し、常設化に向け検討する。
部活動の地域移行の進め方	立憲	中村 公太郎	生涯学習部長	区は中学校の部活動の指導を地域団体へ段階的に委ねる方針だ。生徒が部活動を通じて培ってきた母校への愛着や教員との絆が薄れないよう十分留意して進めよ。	教員と生徒の交流機会や学校でのつながりを意識して進める。
老朽化が著しい深沢小の再整備	自民	菅沼 つとむ	教育総務部長	深沢小は災害時の医療拠点になる重要な施設だが、築60年を超え改築が急務だ。同じく老朽化が進む深沢まちづくりセンターとの複合施設として再整備せよ。	整備手法や複合化について関係所管と連携し検討を進める。
教員が子どもと向き合う時間確保	立憲	羽田 圭二	教育政策部長	教育現場では深刻化する過重労働により、教員が児童生徒と向き合う時間の確保が困難な状況に陥っている。改善に向けて区立校のカリキュラムの見直しを図れ。	各校の教育課程への助言指導や人的支援の在り方を検討する。